

会 議 録

1 会議の名称 平成28年度 第1回岡谷市まち・ひと・しごと創生有識者会議

2 会議日時 平成28年11月30日(水) 午後3時00分～午後4時30分

3 開催場所 岡谷市役所 9階大会議室

4 出席した者の氏名

(1) 委員 小口泰史委員、高木文人委員、中村文明委員、羽毛田哲朗委員、
横内敏子委員、太田博久委員、小林伊奈子委員、伊籐敏昭委員、
薩摩建委員、小野正行委員、小山智委員、若林茂樹委員(代理出席/二神充)
浅井秋彦委員、今井竜五委員、小口明則委員
(以上、19名中15名出席)

(2) 執行機関(事務局) 岩垂俊男、岡本典幸、小松秀尊、宮坂征憲、鈴木桂、内尾崇人、
田村賢二、仲田健二、高橋卓、名取浩 (以上10名)

5 議題

- (1) 岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- ①平成27年度の効果検証について
 - ②平成27年度地方創生交付金活用事業の効果検証について
 - ③平成28年度の進捗状況について
 - ④平成28年度地方創生交付金活用事業の進捗状況について

6 会議資料の名称

資料1 岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略～平成27年度の実施状況～

資料2 戦略展開のためのアクションプラン(平成27年度分)

資料3 戦略展開のためのアクションプラン(平成28年度分)

資料4 諏訪圏6市町村によるSUWAブランド創造事業

資料5 岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略・岡谷市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン 概要版

7 発言の内容

事務局	<p>皆さんこんにちは。定刻となりましたので、始めさせていただきたいと思います。本日は、お忙しいなか、お集まりを頂きまして誠にありがとうございます。私は本日司会を務めさせていただきます、まち・ひと・しごと創生推進室長の岡本と申します。よろしくお願い申し上げます。</p> <p>まず、会議に先立ちまして、市民憲章の唱和を行いたいと思いますので恐れ入りますがご起立をお願いいたします。憲章文につきましては次第の裏面にございますのでご覧を頂きたいと思います。職員が前文をお読みいたしますので「私たちは」からご唱和をお願いいたします。</p> <p>〈〈全員で市民憲章唱和〉〉</p>
事務局	<p>ありがとうございました。ご着席ください。</p>
事務局	<p>(委嘱書交付)</p> <p>続きまして、新たに委員となられました方の委嘱書の交付を行いたいと思います。市長が該当される方の前まで参りますので、恐れ入りますがその場にお立ちをいただき、お受け取り下さい。それでは市長、お願いいたします。</p>
会長	<p>〈〈新任委員への委嘱書交付（新任委員出席者3名）〉〉</p>
事務局	<p>(開会)</p> <p>それではただいまから、平成28年度第1回岡谷市まち・ひと・しごと創生有識者会議を開催いたします。はじめに、岡谷市まち・ひと・しごと創生有識者会議会長よりご挨拶を申し上げます。</p>
会長	<p>(会長あいさつ)</p> <p>みなさん、改めましてこんにちは。早いものでして、今年も残り1ヶ月になってしまったところでございます。そうしたなか、みなさま公私ともお忙しいなか、本日はご出席を賜わり、厚く御礼申し上げます。久しぶりでお懐かしい顔も見かけられまして、嬉しく思っているところでございます。</p> <p>昨年は「岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定にあたりまして、それぞれの立場を越え、岡谷市全体を考えた幅広い市視点からご意見を頂きましたことに、改めて御礼を申し上げます。</p> <p>さて、本市の人口は今年3月に初めて5万人を割り込み、直近の10月1日現在では49,758人となっております。全国的な傾向を見ましても、平成27年の国勢調査の結果によりますと、全国1,719市町村の内、8割を超える1,419の市町村で人口が減少しているとのことでありまして、国全体が人口急減という深刻な課題に直面をしているところでございます。</p> <p>こうしたことから、本市では「岡谷市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」と「岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づきまして、国の「地方創生交付金」も活用しながら施策の着実な推進を図っているところでございます。</p>

事務局	<p>本日の会議では平成27年度の取り組みによる重要業績評価指標（K P I）の効果検証について委員のみなさまにご報告をするとともに、施策や事業の効果をさらに高めるため、ご意見をいただきたいと考えております。</p> <p>なお、本会議の結果を踏まえまして、必要に応じて事業等の見直しを行い、現在進められております平成29年度予算編成の中で十分に検討して参りたいと考えておりますので、委員のみなさまには総合戦略を策定した際の経過などを思い出していただきながら、また、このたび委員になられた方には新しい視点から、ぜひ忌憚のないご意見をいただくよう、重ねてお願いを申し上げます。</p> <p>国と地方による「地方創生」の本格的なスタートから2年が経過するなか、人口減少に歯止めをかけるための施策をこれまで以上に展開をし、良好な生活環境を守り、安全で安心して暮らしていける魅力と活力あるまちづくりを進めまして、将来展望人口である平成72年の人口4万人台維持を実現して参りますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>お願いを申しあげまして、挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>（自己紹介）</p> <p>続きまして、今年度最初の会議でございます。人事異動などに伴いまして新たに委員になられた方もいらっしゃいますので、改めて委員のみなさまより自己紹介を頂きたいと存じます。それでは最初、小口委員さんから、席順にお願いをいたしたいと思っております。</p>
事務局	<p>＜＜出席委員 自己紹介＞＞</p> <p>ありがとうございました。なお、本日はご都合によりまして、商業連合会 笠原委員さん、J R 岡谷駅長の波多腰委員さん、職業安定所の渡邊委員さん、信州大学の中山委員さん、T P R 労働組合の武田委員さん、区長会の牛山委員さんがご欠席をされております。</p> <p>続きまして、市側の自己紹介をさせていただきます。</p> <p>＜＜市側 自己紹介＞＞</p>
事務局	<p>（会議事項）</p> <p>それでは会議事項に入ります。</p> <p>岡谷市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱第5条の規定によりまして、会長が座長となることとなっておりますので、今井会長、議事進行をお願いしたいと思います。</p>
会長	<p>それでは、早速、会議事項に入りさせていただきます。</p>
事務局	<p>会議事項1「岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略について」のうち、「(1)平成27年度の効果検証について」を議題といたします。それでは説明の方をお願いいたします。</p>

会長	<p>(1)平成27年度の効果検証について【資料1・2より説明】</p> <p>※資料1 「1.岡谷の創生～3.まとめ」まで</p>
委員	<p>今、担当の方から27年度の報告をさせていただいたところでございますけれども、この説明に対しまして、ご意見ですとかご質問ありましたら、お願いをいたします。</p>
会長	<p>それぞれの32項目についてということで、良く分かったんですけども、それぞれやることによって最終的には4万人の維持に結び付けるというのが大目標だと思いますので、現段階で、このひとつひとつの事業について年度毎に目標を設けないということですので、それはそれで良いんですけど、26年度と27年度の人口の減少がどのくらいあって、その中での自然減、社会動態減、その辺のところはどういうふうになっているかということだけは、確認をしながらこの会議をやっていた方が良いのかなと思いますので、そういうところを確認していくことで、初めてこれをしていくことが、どこまでどういうふうに結び付いているのか、あるいは付いていないのかということのある程度の目安になろうかなと思いますので、お伺いします。</p>
事務局	<p>今、委員さんからそういったご指摘、質問がありましたけれども、今、数値持っていますか。</p>
会長	<p>人口の推移の数値を手元に用意してないので、すぐにお答えできないんですけども、基本的には減少傾向で今のところ来ているのかなと思っておりますけれども、若干28年度になりまして幾分、上半期なんですけれどもちょっと状況が好転しているのかなという話を、市民環境課の窓口からは話を聞いております。</p> <p>実際に転出ですとか死亡の届けのあった件数の上半期の状況なんですけれども、27年度につきましては社会動態の部分で121人の減だったそうですが、今年度につきましてはマイナス4ということで、社会動態の減少幅が上半期だけみれば、ちょっと改善している。</p> <p>それから自然動態の部分につきましても、昨年の上半期は117名の自然減という状況だったんですけども、28年の上半期についてはマイナス88ということで、若干自然減の方も減少幅が縮小しているような数字を頂いております。ただ通年でみるとどうなるかというのは、現段階では分からないんですけども、今手元にある情報としてはそのようなところになります。</p>
会長	<p>はい。あの、今、委員さんからご指摘頂いたこと、重要なことだというふうに思いますので、今後いろんな報告に関しましてはきちっとそういったことを添えて報告させていただきますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>他にご意見とか、ご質問とかございますでしょうか。</p> <p>【意見・質問なし】</p>
	<p>よろしいですか。とりあえずは、2年目といいましても実際には28年度からの事の</p>

会長	<p>方が多い内容かなっていうふうにも思ってますんで、よろしくお願ひしたいと思ひます</p>
会長	<p>それではですね、この総合戦略につきまして、現在のところはこのK P Iということで、特段の見直しを行わないで続けていくということでご了承頂きたいと思ひますがよろしゅうございますかね。</p>
事務局	<p>【異議なし】</p> <p>はい、ありがとうございます。</p>
会長	<p>次に、会議事項の1の「岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略について」のうちの、「(2)平成27年度地方創生交付金事業の効果検証について」を議題といたしますので、説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(2)平成27年度地方創生交付金事業の効果検証について【資料1より説明】</p> <p>※「4.地方創生交付金活用事業～5.平成27年度地方創生交付金活用事業」まで</p> <p>先ほどの委員さんのまずご質問というか、ご指摘の数値、分かりましたのでちょっと発表させていただきます。よろしくお願ひします。</p>
会長	<p>それでは、先ほど委員さんからご質問頂きました件について、ご説明をさせていただきますたいと思ひます。</p> <p>まず、人口動態でございますけれども、平成26年、こちら出生数と死亡数の差であります自然動態ですけれども、マイナス239人となっております。これに対しまして27年の自然動態ですけれどもマイナス249人ということで、26年から27年に対しましては自然動態、自然減が進んだような形になっております。</p> <p>次に転入と転出の比較であります社会動態につきましては、26年がマイナス334人ということで、転出者の方が上回っている状況でございます。この26年のマイナス334人に対しまして、27年はマイナス254人ということで、社会動態の部分につきましては、転出が抑制されたような形になっております。</p> <p>また、年齢3区分別人口につきましても情報を申し上げますと、それぞれ10月1日現在での状況になりますが、平成26年につきましては、0歳から14歳までの年少人口が6,566人ということで、割合が13%です。15歳から64歳の生産年齢人口ですが、こちらは27,974人、55.3%、65歳以上の老年人口の方が16,082人で31.8%、総人口は26年10月1日現在で50,690人となります。</p> <p>これに対しまして27年の10月1日現在ですけれども、最初に総人口から申し上げますと50,143人、内訳ですが、年少人口0歳から14歳が6,366人で12.7%、生産年齢人口が27,368人、54.7%、65歳以上の老年人口が16,341人、32.6%となっております。</p> <p>年少人口が減少して老年人口が増加しているということで、年齢3区分別の状況につきましては少子化・高齢化が進んでいるというような結果が表れております。</p> <p>先ほどの委員さんからのご質問に対する回答は以上となります。</p>

会長	<p>はい、そういったことで、また経過をこれからもきちっと報告させていただきますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>それでは今ですね、画面の方で見て頂きました事につきまして、地方創生の交付金の内容というようなことでございましたけれども、ご質問、ご意見等ございましたらお願ひをいたします。</p> <p>【意見・質問なし】</p>
会長	<p>いろいろな事業を一生懸命、今、手掛けてやっているとことをご理解いただければなというふうに思ひますし、一年ではなかなか効果が出ないような部分も手掛けているということもあるのかなと思ひております。</p> <p>それでは、平成27年度の地方創生交付金事業につきまして、総合戦略のK P I 達成に有効であったということで、ご了解を頂きたいと思ひますがよろしゅうございませうか。</p> <p>【異議なし】</p>
事務局	<p>はい、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは引き続きですが、会議事項1の「岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略について」のうち、「(3)平成28年度の進捗状況について」を議題といたします。</p>
会長	<p>説明をお願ひいたします。</p> <p>(3)平成28年度の進捗状況について 【資料1・3より説明】</p> <p>※資料1 「6.平成28年度地方創生交付金活用事業」</p>
会長	<p>はい、今説明がございました、28年度の事業を紹介させていただきましたけれども、ただいまの説明に対しましてのご質問、ご意見等ございましたらお願ひいたします。</p>
会長	<p>【意見・質問なし】</p>
事務局	<p>これもよろしいでしょうかね。</p> <p>【異議なし】</p>
会長	<p>それでは次に(4)ですが、「平成28年度地方創生交付金活用事業の進捗状況について」を議題といたしますので、説明をお願ひいたします。</p> <p>(4)平成28年度地方創生交付金活用事業の進捗状況について 【資料4により説明】</p>
会長	<p>少し長くなりましたけれども、このSUWAブランドの事業につきましては岡谷市が代表市ということで、この冊子の取りまとめも全部をやっているところでございますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>

ただいまのこの見ていただいた一連のことにつきまして、ご質問やご意見ございませんでしょうか。

【意見・質問なし】

今、一所懸命頑張っているいろんなこと、一連の見ていただいたと思います、取り組んで、岡谷の創生、諏訪地方の創生、一所懸命進めているところでございますので、ぜひまたですね、委員のみなさんにご協力やご支援を賜わっていきたくと思いますし、また良いご意見やアイデアがありましたらですね、これからも遠慮なく、担当の方へ伝えて頂ければなというふうに思っています。

こうした正式な会議ばかりではなくてですね、それぞれ伝えていただければありがたいのと、そんなふうに思いますので、よろしく願いをいたします。

それでは、一応このことにつきましてはこれで打ち切りをさせていただきたいと思えます。

そのほか何かございますでしょうか。

【意見等なし】

事務局の方からありますか。

【発言なし】

よろしいですか。わかりました。

今日はちょっと長くなりましたけれども、今取り組んでいる一連の流れ、それから状況等についてご説明をさせていただきました。

地方創生2年目ということですが、実際には本年度がある意味では元年だというふうに国の方でも言っている部分もございます。ところが、国の方の経済情勢、財政状況も厳しくてですね、地方創生につきましてなかなかこれから、今言ったような交付金の関係が獲得ができるかどうかという問題がございますけれども、せっかくこういう良い意味で芽が出てきている部分が沢山ございますので、こういったことをですね、伸ばして参りたいと、そんなふうに思えます。

先ほど申し上げましたように、皆さんには今後ご支援、ご協力、そしてご意見賜れればと思います。よろしく願いいたします。

そんな願いをいたしましてですね、今日の会議の私の方の役目を終了させていただきます。

ありがとうございました。

(閉会)

ありがとうございました。

以上を持ちまして、第1回岡谷市まち・ひと・しごと創生有識者会議を終了致します。誠にありがとうございました

会長

会長

事務局

上記に相違ないことを確認する。

会長 今井 竜五